

第1回 伊勢市地域福祉計画推進委員会 書面決議結果概要

参加委員 鵜沼憲晴委員、小林初美委員、下郁雄委員、柴原淳子委員、前島賢委員、立松浩明委員、秋山則子委員、大松真由美委員、野間通代委員、加藤好美栄委員、泰道詞子委員、松月孝行委員、伊豆敏委員、前村裕司委員、嶋垣智之委員、籠谷芳行委員、藤本宏委員、江原博喜委員

議題

1. 令和2年度地域福祉計画・地域福祉活動計画の振り返り及び令和3年度の取組方針について

地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づく各課、及び伊勢市社会福祉協議の取り組みについて、令和2年度期末時点の達成状況、令和3年度の取組方針、達成基準等を記載した「地域福祉計画進捗管理シート」「地域福祉活動計画進捗管理シート」「重点事項進捗管理シート」を資料として送付し、質問・意見を得た。

【各委員の主な質問・意見要旨】

○委員

地域福祉の人材を育てるには「まちづくり協議会」の役割は大きいと思います。「まちづくり協議会」同志の情報交換会や、事例発表会など開催し、活動が活発な協議とそうでない協議の交流ができるような工夫が必要だと思います。

○事務局

ご指摘のとおり、まちづくり協議会は地域の人材育成において重要な役割を担っていると考えております。まちづくり協議会の情報交換の機会として、毎年、意見交換会を行っています。また、まちづくり協議会間で勉強会を開催し、情報交換をされているところもあります。市、社会福祉協議会としましては、ひきつづき第3期伊勢市地域福祉計画・伊勢市地域福祉活動計画の基本目標2-2に基づき、まちづくり協議会や自治会等が行う活動を支援し、ふれあいや交流活動等の活性化を図ってまいります。

○委員

これからの人材育成として、子ども達に自分たちの町は自分達も参加して住みやすくしていくという視点と、子どもには、「自分の意見や思いを言ってもよい」という「子どもの権利」教育が必要だと思います。権利教育は、お互いの権利を尊重するということにつながっていきますので。

○事務局

ご指摘のとおり、地域の核となる人材を育てるには、子どもたちの意見を尊重したり、参加を保障することが大切であると捉えております。第3期伊勢市地域福祉計画・伊勢市地域福祉活動計画の基本目標3-1及び3-3に基づく、教育現場での福祉学習プログラ

ムの活用及び多様な活動の紹介等とともに、基本目標 1-3 に基づき、子どもが必要な権利を有することを子どもも大人も理解が深められるよう、関係機関と連携を図りながら、啓発に努めていきます。